

平成30年度 事務事業評価シート

事務事業名		スポーツボランティアを育む				所管	教育委員会 スポーツ振興課				
事務事業の概要	行政計画	事業NO.	142	計画事業名	スポーツボランティアの育成			事業の開始・終了年度			
	長期総合計画体系	[基本目標] II-3. 学びと交流の仕組みづくり [小 柱] (2)生涯スポーツ社会の実現 [施 策] ①スポーツに親しむ機会の提供				[事業開始]	平成 27 年度				
						[終了予定]	平成 31 年度				
	根拠法令等	その他	〔法令等名〕		なし						
	事業対象	直接の対象 : 一般区民 最終的な対象 : 同上									
	事業目的	区民のボランティア気運醸成									
	事業内容 [29年度]	東京2020大会に向けて、「支える」スポーツの普及の重要性が高まっている。そのため、区民のボランティア気運の醸成を目的として、スポーツボランティアに関する講演会、講習会を開催する。									
委託の有無	一部委託	委託内容		講習会講師派遣							
補助金の有無	都										
事務事業の実績	種 別	指標の名称	単位	31年度 目標値	27年度 実績	28年度 実績	29年度 実績		達成率		
	活動指標	講演会・講習会実施回数	回	2	2	2	2	2	100.0%		
	成果指標	スポーツボランティア登録者数	人	120	71	87	106	100	106.0%		
	決算額 (単位:千円)				27年度		28年度		29年度		
	事務事業コスト (単位:千円)	人にかかるコスト (人件費など)				115		179		198	
		物にかかるコスト (物件費・維持補修費)				2,807		2,229		2,095	
		その他のコスト (扶助費・補助費など)				64		119		199	
		総経費				52		60		0	
	財源項目 (単位:千円)	受益者負担額 (使用料・手数料・負担金など)				0		0		0	
		その他特定財源 (国や都の支出金・財産収入など)				57		89		78	
一般財源 (区負担額)				2,866		2,319		2,216			
前回評価から29年度に改善した事項	28年度から実施した体験会を充実させ、参加者が実践に活かせる内容に改善した。										
評価の視点	評価	評価の理由									
	必要性	4	ボランティアに興味のある区民がボランティア活動を始めるきっかけやスポーツイベントの情報を収集する手段として本事業の必要性は高い。								
	効率性	3	H28年度は、祝日に比べ平日夜間の方が参加者が多かったため、H29年度は平日夜間に2回開催し、効率性の向上を図った。								
	手段の適切性	3	「支える」スポーツに関する講習会、体験会を多く実施している団体に講師を依頼することは、手段として適切である。								
目的達成度	4	スポーツボランティア育成講習会に初めて参加した人の半数ほどが、台東区スポーツボランティアに登録している。									
[総合評価] ※上記4つの視点を踏まえ、事業全体を評価。区民生活への影響を十分考慮すること。						今後の方向性					
東京2020大会に向けて、「支える」スポーツの普及の重要性が高まっていることから、区民のボランティア気運の醸成を図るため、引き続きスポーツボランティアに関する講演会、講習会を開催する。						維持		拡大改善 維持 縮小 廃止・終了			